



育てる喜び、食べる感動

シイタケ栽培講座・4/23

No.6

八鉾自治振興センターでシイタケ栽培講座が開催され、西城小3年の児童が参加しました。

当日、児童たちは八鉾自治振興区高齢者部の皆さんからシイタケの楠木植菌作業を教わりました。

植菌作業が初めての児童たちは、興味津々で作業に取り組んでおり、かわいく、素直な子どもたちに、高齢者部の皆さんも笑顔が絶えませんでした。

作業後には、シイタケを使ったピザ作りが行われ、児童たちは1人ずつ思い思いにピザを作りました。

出来上がったピザを食べた児童たちは「シイタケのピザ！とてもおいしかった！」と喜んで話しました。

この秋には、本伏せ作業と収穫が行われる予定です。



▲熱心に植菌作業に取り組む児童たち

全国優勝の喜びを報告

八谷市長への表敬訪問・4/1

No.5

空手道の全国大会で優勝を果たした板橋町出身の新井梓さんが八谷恭介市長へ表敬訪問を行いました。

新井さんは、香川県の高松中央高等学校空手道部に所属し、令和8年3月に長野県で開催された「JOCジュニアオリンピックカップ第45回全国高等学校空手道選抜大会」に出場。地方予選を勝ち上がってきた16人がエントリーした「女子個人組手-66kgの部」で見事優勝しました。

新井さんは「決勝戦は全然緊張しなかった。今年の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）でも優勝したい」と話し、八谷市長は「市民全員が応援している、これからも頑張ってもらいたい」と激励しました。



▲八谷市長から花束を渡される新井さん

大切な命を守るために

高野小学校交通安全教室・4/28

No.2

高野小学校で交通安全教室が開催され、全校児童が参加しました。

当日は、グラウンドに信号機や自転車の走行コースが設けられ、庄原警察署地域交通課の鉄田司警部補や庄原地域交通安全協会高野分会の会員が指導に当たり、1・2年生が横断歩道の渡り方を、3年生以上が自転車の走行について学びました。その後、児童から横断中に信号が点滅した場合の対応や、自転車で横断歩道を渡る時のルールなどについて質問が出されていました。

鉄田警部補は「暖かくなって出かける機会も増えるので、交通ルールを守って安全に過ごしてもらいたい」と話しました。



▲交通ルールを学ぶ児童たち

地域のつながりを育む「カフェ」

ごゆっくりカフェ・5/7

No.1

〇和自治振興センターで、庄原市社会福祉協議会〇和地域センターと〇和自治振興区が共催し、地域で気軽に交流できる「ごゆっくりカフェ」が開催されました。

この「ごゆっくりカフェ」という名称には、高齢者や子育て世代の人が「時間を気にせず、ごゆっくり過ごしてほしい」という思いが込められています。

会場では、手作りのお菓子やコーヒーを楽しみながら自然と会話が生まれ、近況報告をしたり、久しぶりの再会を喜んだりする参加者の姿が見られました。

参加者は「地域の皆さんが気軽に立ち寄り、つながりを感じられる場所として、これからも続けてほしい」と話しました。



▲カフェをゆっくり楽しむ参加者

帝釈峡観光シーズンの到来！

第58回帝釈峡湖水開き・4/26

No.8

美しい新緑の中、帝釈峡神龍湖の観光シーズンの幕開けとなる「第58回帝釈峡湖水開き」が開催され、多くの来場者が訪れました。

当日は、神龍湖の湖水と観光客の安全を祈願する神事が行われた後、龍船パレードが行われました。2隻の遊覧船に乗った龍が紅白の煙を吐くと、観客は歓声をあげてその瞬間をカメラに収めていました。

また、トレイルセンターしんりゅう湖では、ザ・ニュースペーパーの福本ヒデさんによるトークショーや、7団体のよさこい共演など、華やかなステージイベントが会場をにぎわしました。

来場者は「出演者だけでなく観客も参加できるステージイベントがあり、とても楽しかった」と話しました。



▲ステージイベントを楽しむ来場者

足元の小さな春を発見

春の草花ウォッチング・4/29

No.7

吾妻山で、第1回比和自然科学博物館公開講座「春の草花ウォッチング」が開催され、市内外から約40人が参加しました。

当日は、心配された雨も降らず、参加者の皆さんは春植物の観察に元気よく出発しました。

現地では、講師である博物館のインストラクターから、吾妻山の歴史や花の見分け方などを教わった後、草花を探したり熱心に観察したりと、思い思いに吾妻山の大自然を満喫していました。参加者の中には大人顔負けの知識を持っている小学生もいて、年代を超えた楽しい講座となりました。

参加者は「講師の詳しい説明があり本当によく分かった。次回の講座にも参加したい」と話しました。



▲草花を観察する参加者たち

「私」を大切に今後の人生設計

東町自治会「100円」サロン・4/26

No.4

東城町東町自治会「100円」サロンに20人が参加し「いきかたノート」について学びました。

このノートは、「これまでの私」「今の私」「もしものとき」「これからの私」で構成され、「私」が大切にしたい生き方や日々の暮らしを、家族や大切な人たちと一緒に叶えていくためのきっかけとなるものです。

当日は説明の後、自分の名前の由来やもしもの時はどうするかなどを考え、最後にこのノートの保管場所についてたくさんの意見を出し合いました。

参加者は、「以前からこのようなノートが欲しいと思っていたのでありがたい」「自分自身を振り返り、これからどう生きていきたいのか考える機会になった」と話しました。



▲熱心に説明を聞き、ノートを書く参加者

笑顔でつながるけんこうざ

けんこうざ・4/24

No.3

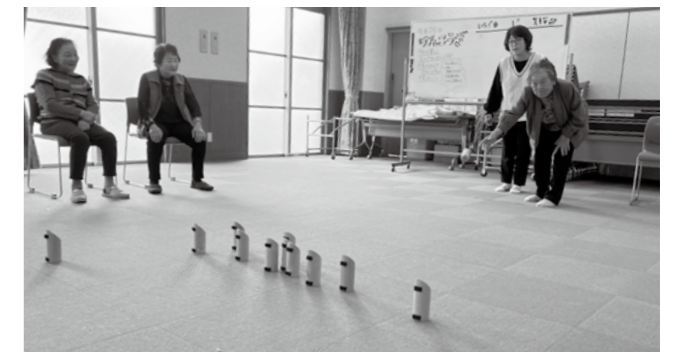
総領地域では、集まり場の一つとして、総領自治振興区・社会福祉協議会総領地域センターおよび市が共催し、月に一度「けんこうざ」を開催しています。

今回は、「レク&交流」として、12人が参加し、モルックと会食を行い、参加者同士の交流を深めました。

また、交流の際には、4月から総領診療所に赴任された角水医師に自己紹介をいただきました。

モルックなどを楽しんだ参加者は、「また来月も一緒に来ようね」と満足した様子で話していました。

今後も、フレイル予防についてや、こころの健康に関する講座など、参加者が住み慣れた地域で、笑顔で健やかに暮らすためのヒントを共に学ぶ場として、三者で協力して事業を実施していく予定です。



▲モルックを楽しむ参加者